

2022 年度診療実績

【小児外科】

2022 年度の外来患者数は 2,291 件、入院数は 213 件でした。手術実績は、総数 185 件（内訳：単径ヘルニア関連手術 65 件、停留精巣固定術 13 件、尿道下裂修復術 15 件、噴門形成術 10 件、胃瘻造設術 10 件、中心静脈カテーテル挿入術 6 件、他）となっております。新生児外科はそのうち 20 件で、腸穿孔や鎖肛による人工肛門造設術のほか臍帯ヘルニア、腹壁破裂、十二指腸狭窄症、小腸閉鎖症、低位鎖肛、食道閉鎖症に対してそれぞれ対応する手術を施行しました。周産期医療の発達により以前よりも早期に娩出される児が増加する傾向にあり、我々小児科外科医の役割もより一層増している印象です。県内唯一の総合周産期母子医療センターを担う診療科の一つとして、関係各科との連携のもと患者さんに安心と信頼の医療を提供できるよう尽力してまいります。